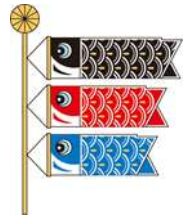


絆(きずな)

三次市立吉舎中学校
進路通信 第5号(全学年対象)
令和4年5月9日

つい先日、始業式を迎え、新学期がはじまったばかりの気がしますが、あっという間に4月が終わりました。公立高校の入試が、令和5年2月27日～3月1日の3日間なので、3年生の皆さんにとっては本番まで残すところ後10カ月になりました。今回の進路通信の「絆」は、実力テストについて記載しますので、全学年対象号とします。1・2年生の皆さんも参考にしてください。

☆令和4年度 実力テストについて (1日で5教科)



本校では、学校の定期試験に加えて『実力テスト』が行われます。
令和5年度の広島県公立高等学校の入学選抜日程が3月に広島県教育委員会から発表がありました。一次選抜においては、2月27日(月)に学力検査(5教科)と自己表現カード記入が一日の時間割で行われるため、今年度の全学年の実力テストを入学者選抜日程に合わせて、一日5時間で実施することとしました。

○全学年実力テストの年間計画

学年	1回目	2回目	3回目	4回目
1年生	9月	1月下旬		
2年生	6月	9月	1月下旬	
3年生	6月	9月	11月	1月上旬

実力テストは学校の成績とは直接関係ありませんが、進路を切り拓くための準備としてとても大切なテストです。入学試験の判定は学校の成績と当日の試験の成績(公立高校の場合は、自己表現)を総合的に判断して決定されます。その当日の試験(学科試験)の準備や力試しのために行われるのが実力テストです。次のことを心掛けて実力テストに向けて計画的に学習を進めていけば効果的に3年間の復習ができます。

①理解度をはかる

実力テストは、中学校1年から今までに学んだことが、どのくらい定着しているかを調べるものです。自分はどれくらい理解できているのか、また苦手なところや課題はどこなのか、そういったことを知るためのものです。

「受験勉強を始めないといけないけど、どこから手をつけていいかわからない」という人も多いと思います。まず、今の自分の力がどのくらいで、これからどこを重点的に勉強すればよいのか、それがわからなければ、勉強する方法もわかりませんね。実力テストは、それを知るためのものです。

②目標にする

「さあ、これから受験までの間に中学校3年間の総復習をするぞ」と思っても、なにか具体的な目の前の目標を決めなければ、なかなか勉強もはかどりません。

まず6月までにここまでやろう、そして次に夏休みの間にこれをやろう、というようにこの一年の間に区切りをつくり、学習の目安をもちながら勉強を進めた方が効果的です。「テストばかり!」「え～またテスト?」と嘆いているのはマイナス思考。それよりも「目標をもってメリハリをつけて頑張ろう!」というプラス思考でいきましょう。もちろん、定期試験や部活動の試合・発表会の日程も念頭に置いて計画的に取り組みましょう。

裏面にもあります

③進路を決めるための目安にする

定期試験は出題範囲が限られています。せまい範囲の内容を、深く、授業にもとづいて出題します。授業で学習した内容がそのままの形で出題されることも多いはずですが。

一方、実際の入試問題は1年から3年までの学習範囲からまんべんなく出題されます。授業の内容がそのままの形で出題されるわけではありません。実力テストも広い範囲から出題されますから、実際の入試問題で自分がどれくらいの力を発揮するのかわかる目安となります。そのため、これから皆さん一人一人の進路を考えるうえでの大切な資料ともなるわけです。

④直前になってあわてないように！

各実力テストの試験範囲については、別紙プリントを配付します。目立つ所に貼っていつでも見られるようにしておきましょう。

ところで、皆さんは自分の1・2年生の教科書・ノート・ワークなどがどこにあるかわかっていますか。「捨ててしまった」などということはないと思いますが、入試には1・2年生の学習内容からも多く出題されます。すでに、1・2年生の復習に取り組んでいる人もいるのではないかと思います。実力テストの直前になってあわてることのないよう計画的に早めに取り組みましょう。

勉強中です

